

## 履歴書

### 氏名

谷口 昭弘 (たにぐち あきひろ)

### 学歴

1987年3月 富山県立富山南高等学校卒業  
1987年4月 新潟大学教育学部特別教科(音楽)教員養成課程入学  
1991年3月 同上 卒業  
1991年4月 東京学芸大学大学院修士課程音楽教育専攻入学  
1993年3月 同上 卒業(教育学修士)  
1993年5月 米国ボストン大学英語・オリエンテーション・センター入学  
(語学研修)  
1994年8月 同上 終了  
1994年9月 米国フロリダ州立大学大学院博士課程歴史的音楽学専攻入学  
2003年8月 同上 修了(Ph. D.)

### 職歴

1998年11月 リサーチ・アシスタント(フロリダ州立大学歴史学部、1999年4月まで)  
2009年10月 富山大学教養教育非常勤講師(現在に至る)

### 学位

Ph. D. (学術博士)、米国フロリダ州立大学、2003年8月。  
論文: Music for the Microphone: Network Broadcasts and the Creation of  
American Compositions in the Golden Age of Radio

## 教育研究業績書

### I. 著書 (単著)

1. 2007年1月 『ディズニー映画音楽徹底分析：これ1冊でディズニー音楽のすべてが分かる』 (株) スタイルノート

### II. 論文等

1. 1993年3月 『ロイ・ハリス研究』 (修士論文、東京学芸大学)
2. 1999年4月 『ロイ・ハリスの第3交響曲：アメリカの交響曲?』 (修士論文、フロリダ州立大学)
3. 2003年7月 『マイクロフォンのための音楽：ラジオの黄金時代における ネットワーク放送とアメリカ音楽の創造』 (博士論文、フロリダ州立大学)。Ann Arbor, MI: University Microfilms, 2003.
4. 2004年6月 「日本の音楽祭1」、『音楽文化の創造 (CMC) 』、(財)音楽文化創造、第33巻、44-47頁。
5. 2004年9月 「日本の音楽祭2」、『音楽文化の創造』第34巻、46-49頁。
6. 2005年1月 「日本の音楽祭3」、『音楽文化の創造』第35巻、52-55頁。
7. 2005年4月 「コンクールと生涯音楽学習～その可能性」、『音楽文化の創造』第36巻、34-37頁。
8. 2005年4月 「日本の音楽祭4」、『音楽文化の創造』第36巻、54-57頁。
9. 2005年5月 大角欣矢、長木誠司、野本由紀夫監修 『メッツラー音楽大事典』 (日本語デジタル版 [DVD]、教育芸術社) の編集協力。  
担当項目：「アメリカ 先住民／アメリカ先住民の音楽」、「カナダ」、「アメリカ合衆国」、「ケージャン音楽」、「ヒルビリー・ミュージック」、「ジークフリート・フォリー」、「ジョン・ケイジ」、「テイルゲート」。
10. 2008年9月 「生誕100年 ルロイ・アンダーソン：永遠に愛される名曲を残した作曲家の肖像」、『レコード芸術』、音楽之友社、第57巻第9号、86-90頁。
11. 2008年10月 「教員養成大学におけるレパトリー拡大～米国大学院の現状からの報告」、『音楽文化の創造』第50巻、36-39頁。

### III. 研究発表

1. 2000年1月 「マイクのための音楽：ラジオの黄金時代におけるネットワーク・ラジオ局によって委嘱されたアメリカの音楽作品」 アメリカ音楽学会（ニューオーリンズ）。
2. 2003年3月 「アーロン・コープランドの《ラジオのための音楽》における『ラジオ向け』管弦楽法あるいは忘れられたテクノロジーの影響」 アメリカ音楽学会（フロリダ州パームビーチ）。
3. 2004年6月 「アーロン・コープランド作曲《ラジオのための音楽》における『ラジオ向け管弦楽法』の探求」 日本音楽学会 中部支部例会（名古屋市立大学）。
4. 2004年11月 アメリカのネットワークラジオ局による委嘱が生み出した「ラジオ向け管弦楽法」：Columbia Composers' Commissionsを例として 第55回日本音楽学会全国大会（名古屋芸術大学）。
5. 2004年11月 ラジオのための音楽：メディアがもたらした演奏法 日本ポピュラー音楽学会北陸地区2004年度第3回研究例会（石川県女性会館）。
6. 2005年10月 ディズニー映画音楽における音楽ジャンルと文献調査上の諸問題 日本ポピュラー音楽学会北陸地区2005年度研究例会（石川県女性会館）。

### IV. 社会における活動等

#### （1）雑誌・新聞記事

1. 1997年2月 「低迷続くオーケストラ：米国」、『新潟日報』（2月17日）。
2. 1997年5月 「最近のアメリカ音楽書籍事情（上）」、『新潟日報』（5月26日）。
3. 1997年5月 「最近のアメリカ音楽書籍事情（下）」、『新潟日報』（5月27日）。
4. 1997年9月 「米で聴かれない日本音楽：エキゾチック求める国民性」、『新潟日報』（9月9日）。
5. 1999年11月 「地方の音楽文化：求めることと育てること」、『Breeze』、(株) アルヒーフ、第14号（11月15日）。
6. 2000年3月 「ニューヨークの新作発表：交響曲とオペラ」、「チャールズ・アイヴズの歌曲全集」『ExMusica』、(有) ミュージックスケイプ、プレ創刊号 188-189頁。
7. 2000年6月 「コープランドの生誕100年」、『ExMusica』創刊号、268-269頁。

8. 2000年9月 「アラン・ホヴァネス逝去」、『ExMusica』第2号、188-189頁。
9. 2000年12月 「近年のアメリカ音楽--広がる『折衷主義』と実験音楽の新しい聴衆」、『ExMusica』第3号、185-186頁。
10. 2001年3月 「ニューヨークのマラソン・コンサート」、『ExMusica』第4号、231-232頁。
11. 2001年8月 「聞き手にやさしい曲 現在成功する秘けつ 米の作曲界」、『新潟日報』（8月4日）。
12. 2001年9月 「迷い続けるアメリカ音楽の現在」、『ExMusica』第5号、188-189頁。
13. 2002年4月 「2002年国際ドホナーニ音楽祭」、『ExMusica』第6号、144-145頁。
14. 2004年6月 「ベートーベン弦楽四重奏全曲への挑戦」『北日本新聞』（6月4日、文化欄 [第10面]）。
15. 2006年6月 「特捜プロジェクト アニヴァーサリー作曲家2006 (6)、生誕100年 ポール・クレストン」、『レコード芸術』第55巻第6号、273-274頁。
16. 2006年10月 「レコ芸的音楽用語御題断 クは『クラシック』のク：セミクラシック」、『レコード芸術』、第55巻第10号、313頁。
17. 2007年1月 「北陸の文化けん引：クアドリ・フォーリオがショスタコービッチ」、『北日本新聞』（1月26日、第13面）
18. 2007年3月 「ガーシュイン独自のオーケストレーション」『レコード芸術』、音楽之友社、第56巻第3号、53-54頁。
19. 2007年7月 「特捜プロジェクト アニヴァーサリー作曲家2007 (7)、没後20年 モートン・フェルドマン」、『レコード芸術』、第56巻第7号、287-288頁。
20. 2008年2月 「オーケストラ・アンサンブル金沢と井上道義が目指すもの」『音楽現代』、(株)芸術現代社、第38巻第2号、65頁。
21. 2008年3月 「各地の音楽活動：北陸」『演奏年鑑2008』（社）日本演奏連盟、21頁。
22. 2009年3月 「各地の音楽活動：北陸」『演奏年鑑2009』、21頁。
23. 2009年4月 「特捜プロジェクト アニヴァーサリー作曲家2009 (4)、没後50年

ジョージ・アンタイル」、『レコード芸術』第58巻第4号、293-294頁。

24. 2009年8月 「『劔岳 点の記』の音楽：心に訴える神々しさ」、『北日本新聞』(8月7日、第17面)

25. 2009年9月 「特集＝作曲家ベイシック・シリーズ3 ショスタコーヴィチの交響曲、交響曲第3番」、『音楽現代』、(株)芸術現代社、第39巻第9号、58頁。

26. 2009年12月 「リゲティ／《アヴァンチュール》～20世紀の音楽が理論的だという偏見から解放してくれた記念碑的作品」、『音楽現代』第39巻第12号(2009年12月)42-43頁。

(2) 雑誌・新聞記事(書評・演奏評・メディア評など)

1. 2004年7月 「『皇帝』弾き振り 積極的な対話(音楽評 O E K [オーケストラ・アンサンブル金沢] 第162回定期公演)」、『北國新聞』(7月6日夕刊)、『富山新聞』(7月7日)。

2. 2004年8月 「ベートーベン弦楽四重奏曲全17曲第2回演奏会」、『北日本新聞』(8月6日、第17面「クロスレビュー」)。

3. 2005年1月 「定着した新年公演 聴衆手拍子で一体(音楽評 O E K 第173回定期公演)」、『北國新聞』(1月18日夕刊)、『富山新聞』(1月19日、第17面)。

4. 2005年4月 「仏の近現代作品を美しく色彩豊かに(音楽評 O E K 第179回定期公演)」、『北國新聞』(4月19日夕刊)、『富山新聞』(4月20日、第19面)。

5. 2005年7月 「(音楽メディア紹介)日本作曲家選輯 TOSHIRO MAYUZUMI」、『音楽文化の創造(CMC)』、(財)音楽文化創造、第37巻、77頁。

6. 2005年9月 「ジョージ・クラム：管弦楽作品集」(CD評)、『レコード芸術』、(株)音楽之友社、第54巻第9号、264頁。

7. 2005年10月 「(おすすめしたい本)新保祐司 『信時潔』 構想社、2005年」『音楽文化の創造』 第38巻、96頁。

8. 2005年10月 「ジョセフ・シュワントナー：作品集」(CD評)、『レコード芸術』第54巻第10号、260頁。

9. 2005年11月 「チャールズ・アイヴズ：歌曲集」(CD評)、『レコード芸術』第54巻第11号、292頁。

10. 2005年12月 「ウィリアム・グラント・ステイル：ピアノ作品集」(CD評)、『レコード芸術』第54巻第12号、309頁。

11. 2005年12月 「ジョージ・クラム全集第9巻」(CD評)、『レコード芸術』第54

巻第12号、312頁。

12. 2006年1月 「(おすすめしたい本) 柳生すみまろ 『映画音楽～その歴史と作曲家』 芳賀書店、1985年」、『音楽文化の創造』第39巻、96頁。

13. 2006年1月 「(音楽メディア紹介) アフリカン＝アメリカン・コミュニティー・ゴスペル」、『音楽文化の創造』第39巻、98頁。

14. 2006年1月 「コリリアーノ：管弦楽作品集」(CD評)、『レコード芸術』第55巻第1号、320頁。

15. 2006年1月 「ヘンリー・カウエル：管弦楽作品集」(CD評)、『レコード芸術』第55巻第1号、321頁。

16. 2006年2月 「カール・ラッグルス：ピアノ作品集」(CD評)、『レコード芸術』第55巻第2号、255頁。

17. 2006年2月 「ジュリアス・イーストマン：不当な沈滞」(CD評)、『レコード芸術』第55巻第2号、268頁。

18. 2006年3月 「モートン・グールド：ジキルとハイド変奏曲、バレエ《フォール・リヴァーの伝説》全曲」(CD評)、『レコード芸術』第55巻第3号、252頁。

19. 2006年3月 「テリー・ライリー&アルター・サキソフォン四重奏団」(CD評)、『レコード芸術』第55巻第3号、261頁。

20. 2006年4月 「アラン・ホヴァネス：吹奏楽作品集」(CD評)、『レコード芸術』第55巻第4号、266頁。

21. 2006年4月 「ウィリアム・ボルコム：2台ピアノのための作品集」(CD評)、『レコード芸術』第55巻第4号、272頁。

22. 2006年5月 「マーガレット・ブローワー：管弦楽作品集」(CD評)、『レコード芸術』第55巻第5号、257頁。

23. 2006年5月 「ジョン・ケージ：打楽器作品集(全集第4集)」(CD評)、『レコード芸術』第55巻第5号、264頁。

24. 2006年7月 「(音楽メディア紹介) アラ・パヴロワ」『音楽文化の創造』第41巻、95頁。

25. 2006年7月 「(おすすめしたい本) ハイブ로우／ロウブ로우、ローレンス・W・レヴィーン著、常山菜穂子 訳、慶応義塾大学、2005年」、『音楽文化の創造』第39巻、88頁。

26. 2006年6月 「モートン・フェルドマン：弦楽四重奏曲第1番」(CD評)、『レ

コード芸術』第55巻第6号、254頁。

27. 2006年7月 「ハイドン：歌劇《騎士オルランド》」 (CD評)、『CDジャーナル』第50巻第7号、80頁。

28. 2006年7月 「ロイ・ハリス 交響曲第3番・同4番《民謡交響曲》」 (CD評)、『レコード芸術』第55巻第7号、275頁。

29. 2006年7月 「ミルトン・バビット：ソロと小デュエット」 (CD評)、『レコード芸術』第55巻第7号、275頁。

30. 2006年8月 「チャールズ・ウォリーネン：6つの三重奏曲」 (CD評)、『レコード芸術』第55巻第8号、277頁。

31. 2006年8月 「チャールズ・アイヴズ自作自演集ーアイヴズによるピアノ演奏全記録」 (CD評)、『レコード芸術』第55巻第8号、289頁。

32. 2006年9月 「モーツァルト：歌劇《ツァイデー》」 (CD評)、『CDジャーナル』第50巻第9号、88頁。

33. 2006年9月 「アイルランド狂詩曲 (ルロイ・アンダーソン：アイルランド組曲、他)」 (CD評)、『レコード芸術』第55巻第9号、279頁。

34. 2006年9月 「アウグスタ・リード・トーマス：楽園を集めて (2004)、ジェイコブ・ドラックマン：夏の稲妻 (1991)、ステイーヴン・ハートキー：交響曲第3番 (2003)」 (CD評)、『レコード芸術』第55巻第9号、280頁。

35. 2006年9月 「ルー・ハリソン：室内楽・ガムラン曲集」 (CD評)、『レコード芸術』第55巻第9号、298頁。

36. 2006年10月 「(音楽メディア紹介) リッスン」 『音楽文化の創造』第42巻、86頁。

37. 2006年10月 「(おすすめしたい本) 路上音楽～ストリート・ミュージシャンズ・バイブル 青柳文信 著 マガジン・ファイブ、2006年」、『音楽文化の創造』第42巻、88頁。

38. 2006年10月 「ステイーヴ・ライヒ：ユー・アー (ヴァリエーションズ)」 (CD評)、『CDジャーナル』第50巻第10号、88頁。

39. 2006年10月 「不良少年の偉業：アンタイルの1924年版《バレエ・メカニク》」 (DVD評)、『レコード芸術』第55巻第10号、254頁。

40. 2006年10月 「サミュエル・バーバー：歌劇《ヴァネッサ》(4幕初演版)」 (CD評)、『レコード芸術』第55巻第10号、254頁。

41. 2006年11月 「フランク・ペーター・ツィンマーマン、ハインリヒ・シフ ヴァ

イオリンとチェロのための作品集」(CD評)、『CDジャーナル』第50巻第11号、88頁。

42. 2006年11月 「エリオット・カーター：フィルム『時の迷路』」(DVD評)、『レコード芸術』第55巻第11号、255頁。

43. 2006年11月 「コンロン・ナンカロウ：プレイヤー・ピアノ1」(CD評)、『レコード芸術』第55巻第11号、266頁。

44. 2006年12月 「チャールズ・アイヴズ：交響曲第1番～第4番」(CD評)、『レコード芸術』第55巻第12号、301頁。

45. 2006年12月 「ハリー・パーチ：エンクロージャー7」(DVD評)、『レコード芸術』第55巻第12号、311頁。

46. 2006年12月 「スティーヴ・ライヒ：ディファレント・トレインズ、同：ピアノ・フェイズ、マーク・メリッツ：弦楽四重奏曲第2番」(CD評)、『レコード芸術』第55巻第12号、312頁。

47. 2007年1月 「JW～ジョン・ウィリアムズ 吹奏楽ベスト！」(CD評)、『CDジャーナル』第51巻第1号、86頁。

48. 2007年1月 「エドワード・マクダウェル：ピアノ協奏曲」(CD評)、『レコード芸術』第56巻第1号、286頁。

49. 2007年2月 「オッフエンバック・ロマンティック」(CD評)、『CDジャーナル』第51巻第2号、94頁。

50. 2007年2月 「元気を出せ、兵士たちよ、元気を出せ！--アメリカ南部連邦ノース・キャロライナ州第26連隊軍楽隊の音楽第2集」(CD評)、『レコード芸術』第56巻第2号、255頁。

51. 2007年2月 「コーブランドと同時代のアメリカ作曲家たち」(CD評)、『レコード芸術』第56巻第2号、276頁。

52. 2007年2月 「質素な贈り物」(CD評)、『レコード芸術』第56巻第2号、276頁。

53. 2007年3月 「イル・ディヴィーノ・ボエーモ--ミスリヴェチェク シンフォニア集」(CD評)、『CDジャーナル』第51巻第3号、78頁。

54. 2007年3月 「ウィリアム・シューマン：交響曲第3番ほか」(CD評)、『レコード芸術』第56巻第3号、237頁。

55. 2007年3月 「モートン・フェルドマン：ヴィオラ・イン・マイ・ライフほか」(CD評)、『レコード芸術』第56巻第3号、261頁。

56. 2007年4月 「(音楽メディア紹介) ガーシュウィン ラプソディ・イン・ブルーほか アンドレ・プレヴィン (P) / アンドレ・コステラネッツ管弦楽団」 『音楽文化の創造』、第44巻、82頁。
57. 2007年4月 「(おすすめしたい本) えんぴつでモーツァルト 1. ピアノ・ソナタ第15番 K. 545 スタイルノート編」、『音楽文化の創造』第44巻、85頁。
58. 2007年4月 「アメリカのピアノ協奏曲集」 (CD評)、『レコード芸術』第56巻第4号、258頁。
59. 2007年4月 「蝶の踊り--アメリカ人の音楽」 (CD評)、『レコード芸術』第56巻第4号、259頁。
60. 2007年5月 「武満徹の宇宙～カシオペア/アステリズム/ジェモー」 (CD評)、『CDジャーナル』第51巻第5号、88頁。
61. 2007年5月 「テリー・ライリー：インC」 (CD評)、『レコード芸術』第56巻第5号、259頁。
62. 2007年5月 「ミュージック・フォー・ピアノ (デヴィッド・テュードア)」 (CD評)、『レコード芸術』第56巻第5号、275頁。
63. 2007年6月 「ジョン・フィリップ・スーザ：ウインド・バンドのための作品集第6集」 (CD評)、『レコード芸術』第56巻第6号、228頁。
64. 2007年6月 「吹奏楽のためのモニュメンタルな名曲集」 (CD評)、『レコード芸術』第56巻第6号、241頁。
65. 2007年7月 「(音楽メディア紹介) ジェローム・モロス/大いなる西部 オリジナル・サウンドトラック」 『音楽文化の創造』、第45巻、68頁。
66. 2007年7月 「(おすすめしたい本) クラシック・ヒストリカル108 山崎浩太郎著」、『音楽文化の創造』第45巻、71頁。
67. 2007年8月 「スティーヴン・アルバート：交響曲第1番ほか」 (CD評)、『レコード芸術』第56巻第8号、241頁。
68. 2007年8月 「ポーリン・オリヴェロス：アコーディオンと声」「ポーリン・オリヴェロス：さすらい人」 (CD評)、『レコード芸術』第56巻第8号、266頁。
69. 2007年9月 「岩城宏之メモリアルコンサート」、『北日本新聞』(9月28日、第13面)。
70. 2007年9月 「スコット・ジョプリン：ラグタイム集第2巻」 (CD評)、『レコ

ード芸術』第56巻第9号、294頁。

71. 2007年9月 「モートン・フェルドマン：3つの声」 (CD評)、『レコード芸術』第56巻第9号、300頁。

72. 2007年9月 「ハワード・ハンソン：歌劇《メリー・マウント》」 (CD評)、『レコード芸術』第56巻第9号、302頁。

73. 2007年10月 「チャールズ・アイヴズ：交響曲第3番ほか」 (CD評)、『レコード芸術』第56巻第10号、251頁。

74. 2007年10月 「ジョン・タワー：《メイド・イン・アメリカ》ほか」 (CD評)、『レコード芸術』第56巻第10号、255頁。

75. 2007年10月 「ジョン・コリリアーノ：《スナップ写真：1909年頃》ほか」 (CD評)、『レコード芸術』第56巻第10号、259頁。

76. 2007年10月 「チャールズ・アイヴズ：歌曲集」 (CD評)、『レコード芸術』第56巻第10号、269頁。

77. 2007年11月 「ザ・キッチン・アーカイヴズNo. 4～コンポーザーズ・インサイド・エレクトロニクス」 (CD評)、『レコード芸術』第56巻第11号、294頁。

78. 2007年12月 「カレル・フサの肖像」 (CD評)、『レコード芸術』第56巻第12号、303頁。

79. 2007年12月 「クインシー・ポーター：弦楽四重奏曲第1番～第4番」 (CD評)、『レコード芸術』第56巻第12号、314頁。

80. 2007年12月 「音楽評：第230回OEK定期公演：洗練された豊かな旋律」、『北國新聞』(12月3日)。

81. 2008年1月 「(音楽メディア紹介) モーツァルト 交響曲第39～41番 井上道義指揮オーケストラ・アンサンブル金沢」、『音楽文化の創造』47号、74頁。

82. 2008年1月 「(おすすめしたい本) みんなCM音楽を歌っていた：大森昭男ともうひとつのJ-POP」、『音楽文化の創造』47号、76頁。

83. 2008年1月 「ヒューバート・クライン・ヘッドリー 生誕100周年アルバム」『レコード芸術』第57巻第1号、252頁。

84. 2008年1月 「アイヴズ 吹奏楽作品集」『レコード芸術』第57巻第1号、252頁。

85. 2008年1月 「ケージ 《ソング・ブック》～声のためのソロ58 (18の微分音ラ

- ーガ) 』『レコード芸術』第57巻第1号、265頁。
86. 2008年2月 「ヴァージル・トムソン 映画音楽《大平原を耕す鋤》、《河》」  
(CD評)、『レコード芸術』第57巻第2号、252頁。
87. 2008年2月 「ギャヴィン・ブライアーズの驚くべき箴言」 (CD評)、『レコー  
ド芸術』第57巻第2号、257頁。
88. 2008年3月 「音楽界飾る公演：ベートーベン&富山の合唱組曲シリーズ」 『北  
日本新聞』 (3月7日、第11面)。
89. 2008年3月 「ナンカロウ：プレイヤー・ピアノのための習作第33番～第37番、  
第40番、第41番」 (CD評)、『レコード芸術』第57巻第3号、261頁。
90. 2008年3月 「輝く宝石～スティーヴン・ポールス 合唱曲集」 (CD評)、『レ  
コード芸術』第57巻第3号、272頁。
91. 2008年3月 「古き良き時代のアメリカの愛の歌」 (CD評)、『レコード芸術』  
第57巻第3号、273頁。
92. 2008年4月 「繊細な楽器に迫る：クラヴィコードの植物文様」 『北日本新聞』 (4  
月18日、第11面)
93. 2008年4月 「ルロイ・アンダーソン 管弦楽作品集-1」 (CD評)、『レコード  
芸術』第57巻第4号、244頁。
94. 2008年4月 「映画のための音楽 (1) バーナード・ハーマン、(2) ジョルジュ・  
ドルリュ、(3) ハリウッド・サウンド、(4) 武満徹」 (DVD評)、『レコード芸術』  
第57巻第4号、253頁。
95. 2008年4月 「メノッティ：歌劇《泥棒とオールドミス》」 (CD評)、『レコー  
ド芸術』第57巻第4号、253頁。
96. 2008年5月 「フレッド・ハーシュ 演奏会用作品集2001～2002年」 (CD評)、  
『レコード芸術』第57巻第5号、257頁。
97. 2008年5月 「ナンカロウ 弦楽四重奏曲と習作集」 (CD評)、『レコード芸術』  
第57巻第5号、259頁。
98. 2008年6月 「音楽評：北陸新人登竜門コンサート ピアノ部門」、『北國新聞』。
99. 2008年6月 「ルロイ・アンダーソン 管弦楽作品集-2」 (CD評)、『レコード  
芸術』第57巻第6号、276頁。
100. 2008年6月 「シエラ：交響曲第1番～第3番、ニュー・ミュージック・ウィズ・

- ア・カリビアン・アクセント」 (CD評)、『レコード芸術』第57巻第6号、283頁。
101. 2008年6月 「マーシフィールド・トルネード：ブラインド・ブーン作品集」 (CD評)、『レコード芸術』第57巻第6号、283頁。
102. 2008年6月 「ジェフスキー：《不屈の民》変奏曲 (2種)」 (CD、DVD評)、『レコード芸術』第57巻第6号、291頁。
103. 2008年7月 「(音楽会評) 『ラ・フォル・ジュルネ金沢』音楽祭2008：ベートーヴェンと仲間たち、第2日」、『音楽文化の創造』48号、46頁。
104. 2008年7月 「(音楽メディア紹介) ルロイ・アンダーソン：管弦楽作品集1」、『音楽文化の創造』47号、72頁。
105. 2008年1月 「(おすすめしたい本) 儲かる音楽 損する音楽：人気ラーメン屋のBGMは何でジャズ?」、『音楽文化の創造』47号、76頁。
106. 2008年7月 「雄大なる音楽に浸る：桐朋アカデミー・オーケストラ合同特別演奏会」 『北日本新聞』 (7月4日、第11面)。
107. 2008年7月 「アイヴズ：オーケストラ・セット第1番～第3番」 (CD評)、『レコード芸術』第57巻第7号、267頁。
108. 2008年7月 「コープランド：ピアノ変奏曲、ピアノ・ソナタ、ピアノ幻想曲」 (CD評)、『レコード芸術』第57巻第7号、277頁。
109. 2008年8月 「ルロイ・アンダーソン 管弦楽作品集-3」 (CD評)、『レコード芸術』第57巻第8号、276頁。
110. 2008年8月 「シュラミット・ラン：《伝説》、ヴァイオリン協奏曲」 (CD評)、『レコード芸術』第57巻第8号、282頁。
111. 2008年8月 「フレイム・ダンス～ランス・ヒュームの音楽」 (CD評)、『レコード芸術』第57巻第8号、288頁。
112. 2008年9月 「ホヴァネス ニュー・アトランティスのためのファンファーレほか」 (CD評)、『レコード芸術』第57巻第9号、249頁。
113. 2008年9月 「アイヴズ 歌曲集-1」 (CD評)、『レコード芸術』第57巻第9号、270頁。
114. 2008年9月 「柔らかな質と結束感：ショスタコービッチ全曲演奏会」 『北日本新聞』 (9月12日、第23面)。
115. 2008年10月 「(音楽メディア紹介) スコット・ブラッドリー トムとジェリー

- &テックス・アヴェリー・カートゥーン傑作集：第1集：1950年代 オリジナル・サウンドトラック」、『音楽文化の創造』50号、68頁。
116. 2008年10月 「(おすすめしたい本) 名曲悪口事典--ベートーヴェン以降の名曲悪評集」、『音楽文化の創造』50号、70頁。
117. 2008年10月 「アイヴズ 歌曲集-2」(CD評)、『レコード芸術』第57巻第10号、279頁。
118. 2008年10月 「ヘギー：見るために、または触れるために ・シュウオーツ：イン・メモリアム ・ライトマン：夢の種子」(CD評)、『レコード芸術』第57巻第10号、287頁。
119. 2008年10月 「富山の音楽史に足跡：オペラ『ラ・ボエーム』」『北日本新聞』(10月24日、第11面)。
120. 2008年11月 「ルロイ・アンダーソン 管弦楽作品集-4」(CD評)、『レコード芸術』第57巻第11号、300頁。
121. 2008年11月 「クリスチャン・ヴォルフ ピアノ作品集」(CD評)、『レコード芸術』第57巻第11号、315頁。
122. 2008年11月 「アイヴズ 歌曲集-3、4」(CD評)、『レコード芸術』第57巻第11号、321頁。
123. 2008年11月 「アイヴズ スーツとタイのラディカル」(CD評)、『レコード芸術』第57巻第11号、330頁。
124. 2008年11月 「実力派の精緻な音楽 音楽評：第248回OEK定期公演」、『北國新聞』(11月17日、第7面)。
125. 2008年12月 「ジョン・ケージ／ヴァリエーションズ7」(DVD評)、『レコード芸術』第57巻第12号、341頁。
126. 2009年1月 「(音楽メディア紹介) カラヤン／ラスト・コンサート 1988」、『音楽文化の創造』51号、78頁。
127. 2009年1月 「アイヴズ／詩編全集」(CD評)、『レコード芸術』第58巻第1号、327頁。
128. 2009年1月 「ガーシュイン：パリのアメリカ人、ラブソディー・イン・ブルー、アイヴズ：交響曲第2番、答えのない質問」(DVD評)、『レコード芸術』第58巻第1号、335頁。
129. 2009年1月 「歌劇『奴奈川姫』に感動」(音楽評)『糸西タイムズ』(1月31

日、第2面)。

130. 2009年2月 「アイヴズ／歌曲集-5、感じられた光～アイヴズ歌曲集」(CD評)、  
『レコード芸術』第58巻第2号、282頁。

131. 2009年3月 「金沢情緒も華やかに オーケストラ・アンサンブル金沢 カウン  
トダウン・コンサート 2008～2009」『ピアノ音楽誌 ショパン』第26巻第3号、(株)  
ショパン、17頁。

132. 2009年3月 「ジョン・コリリアーノ：ディラン・トーマスの詩による3部作、  
ミスター・タンブリンマン～ボブ・ディランの7つの詩、3つの幻想 (映画『アルター  
ド・ステイツ／未知への挑戦』より、ヴァイオリンとピアノのための作品集)」(CD評)、  
『レコード芸術』第58巻第3号、249頁。

133. 2009年3月 「ムジカ・エレットロニカ・ヴィーヴァ 40周年記念アルバム」(CD  
評)、『レコード芸術』第58巻第3号、266頁。

134. 2009年4月 「(演奏会評) 庄司紗矢香 ヴァイオリン・リサイタル」、『音楽  
文化の創造』52号、65頁。

135. 2009年4月 「(音楽メディア紹介) 名指揮者の軌跡 Vol. 1：カルロス・クライ  
バー」、『音楽文化の創造』52号、67頁。

136. 2009年4月 「(おすすめしたい本) 演歌は不滅だ」、『音楽文化の創造』52  
号、69頁。

137. 2009年4月 「アーロン・コープランド：交響曲第1番、交響曲第2番《短い交  
響曲》、舞踏交響曲」(CD評)、『レコード芸術』第58巻第4号、257頁。

138. 2009年4月 「コンロン・ナンカロウ：プレイヤー・ピアノのための習作 第42  
番～48番」(CD評)、『レコード芸術』第58巻第4号、267頁。

139. 2009年5月 「コリリアーノ：交響曲第3番《サーカス・マキシマス》、ガゼボ舞  
曲集」(CD評)、『レコード芸術』第58巻第5号、281頁。

140. 2009年5月 「ブライアン・イーノ：ミュージック・フォー・エアポーツ (マイケ  
ル・ゴードン他編曲)」(DVD評)、『レコード芸術』第58巻第5号、290頁。

141. 2009年6月 「OEK音楽評：第259回定期公演」、『北國新聞』(6月1日)。

142. 2009年6月 「コンロン・ナンカロウ プレイヤー・ピアノのための習作集」(CD  
評)、『レコード芸術』第58巻第6号、293頁。

143. 2009年6月 「ジェイク・ヘギー 歌劇《3つの12月》」(CD評)、『レコード  
芸術』第58巻第6号、299頁。

144. 2009年7月 「民族色豊かな3曲：富山シティ・フィル定期演奏会」(演奏会評)

『北日本新聞』（7月3日、第13面）。

145. 2009年8月 「アメリカ残像」（CD評）、『レコード芸術』第58巻第8号、266頁。

146. 2009年8月 「ヴァリエーション・オン・アメリカ」（CD評）、『レコード芸術』第58巻第8号、273頁。

147. 2009年8月 「歴史的なオペラ公演：7月18日・金沢歌劇座 オペラ『トゥーランドット』」、『北國新聞』（8月3日）

148. 2009年9月 「スーザ／吹奏楽曲作品集- 7」（CD評）、『レコード芸術』第58巻第9号、266頁。

149. 2009年9月 「エリオット・カーター／ピアノ作品全集」（CD評）、『レコード芸術』第58巻第9号、269頁。

150. 2009年10月 「バーンスタイン：ミサ曲」（CD評）、『レコード芸術』第58巻第10号、269頁。

151. 2009年10月 「ディームズ・テイラー」：歌劇《ピーター・イベットソン（永遠に愛せよ）》Op. 20全曲」（CD評）、『レコード芸術』第58巻第10号、275頁。

152. 2009年11月 「今月の話題盤：1960年代から70年代にかけて一世を風靡した現代音楽シリーズが復刻 アール・ブラウン／コンテンポラリー・サウンド・シリーズ- 2」、『レコード芸術』第58巻第11号、271頁。

153. 2009年12月「オーケストラ・アンサンブル金沢第266回定期公演」、『音楽現代』第39巻第12号、132頁。

154. 2009年12月「オーケストラ・アンサンブル金沢第267回定期公演」、『音楽現代』第39巻第12号、133頁。

### （3）プログラム・ノート

1. 1994年4月 銀のしずくコンサート（藤井裕子、水戸博道、市原聖子、長谷綾子、和田恵梨子。新潟県新潟市、だいしホール）。

2. 2000年2月 NHK交響楽団定期公演プログラム（3公演分・9曲。サントリー・ホール、NHKホール）。

3. 2000年 CDのライナー・ノート サミュエル・バーバー作曲 ピアノ協奏曲 ジョージ・セル指揮クリーヴランド管弦楽団 ソニー・クラシカル SRCR 2560。

4. 2004年5月 ベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏会第1回～第6回（2005年9月

まで)、クアドリフォーリオ (オーケストラ・アンサンブル金沢のメンバーにフリーランスのヴァイオリニスト [富山県出身] という構成)、富山県富山市岩瀬・森家 (国指定重要文化財)、田尻酒店 (酒蔵改装の多目的ホール)、北日本新聞ホール、婦中町ふれあい館ホールほか。譜例もFinale (コンピュータ・ソフト) で作成。

5. 2005年7月 いずみシンフォニエッタ大阪 第10回 定期演奏会 (7月2日。ハイドン: 交響曲第30番《アレルヤ》、アイヴズ: 交響曲第3番《キャンプ・ミーティング》を担当、いずみホール、大阪)。

6. 2006年10月 CDのライナー・ノート ドメニコ・スカルラッティ作曲 ソナタ集 マリア・ティーポ (ピアノ) 東芝EMI TOCE-13434。

7. 2006年10月 CDのライナー・ノート フレデリック・ショパン作曲 ノクターン (全曲) マリア・ティーポ (ピアノ) 東芝EMI TOCE-13435。

8. 2006年11月 CDのライナー・ノート ボグスラフ・マルティヌー: 交響曲6番 (交響的幻想曲)、ウォルター・ピストン: 交響曲6番、ジャン・カルロ・メノッティ: ヴァイオリン協奏曲 シャルル・ミュンシュ指揮ボストン交響楽団 BMG JAPAN BVCC-38467。

9. 2007年1月 ショスタコーヴィチ弦楽四重奏曲全曲演奏会第1回、第2回 (全5回の予定)、クアドリフォーリオ (メンバー変更。全員オーケストラ・アンサンブル金沢のメンバー、北日本新聞ホール)。

10. 2007年6月 札幌交響楽団名曲シリーズVol.1「こころ高鳴るアメリカ音楽の世界」 (レナード・バーンスタイン: 《キャンディード》序曲、ファーディ・グローフェ: 《ミシシッピ》組曲、ジョージ・ガーシュウィン: ラプソディ・イン・ブルー、アロン・コープランド: 《アパラチアの春》組曲、モートン・グールド: シンフォニエッタ第2番。札幌コンサートホールKitara)。

11. 2008年8月 ショスタコーヴィチ弦楽四重奏曲全曲演奏会第3回、大澤明弦楽四重奏団(アンサンブル金沢のメンバー、北日本新聞ホール)。

12. 2009年2月 CDのライナー・ノート ハイドン オラトリオ《四季》、ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 ほか EMIミュージック・ジャパン TOCE 56219・20。

13. 2009年8月 CDのライナー・ノート オリジナル・ピアノ版によるアンダーソン作品集 白石光隆 (ピアノ)、キングインターナショナル KKCC-3024。

#### (4) 翻訳 (歌詞)

1. 2005年2月 ヴィラ＝ロボス《ブラジル風バッハ 第5番》からアリア (カンティレーナ)。「B→C (ビートゥーシー [バッハからコンテンポラリーへ]) 幸田浩子リサイタル」 (2月22日、東京オペラシティリサイタルホール)。

## (5) メディア

1. 1998年2月 アメリカのFMラジオ局WVFS (89.7 FM、フロリダ州タラハッチー) で放送された日本の流行歌についての特別番組に出演(2月15日、午後8時から10時)。
2. 1999年1月 FM新津(新潟県新津市)の番組『くらくらクラシック』において、月一回、アメリカのクラシック音楽を紹介する「Mr. Tの現代アメリカ音楽講座」を放送(2005年2月まで)。
3. 2003年「Reich: Three Tales (Nonesuch 79662-2)」(CD評)、『Web-Critique』(インターネット批評サイト、<http://www.web-cri.com/>)。
4. 2003年11月「リュック・フェラーリ再来日<Paris-Tokyo-Paris>」(コンサート評)『Web-Critique』。
5. 2004年「湯浅譲二：葵の上、マイ・ブルー・スカイ第1番」(edition omega point, OPA-001) (CD評)、『Web-Critique』。
6. 2005年2月「あきたロシア音楽祭に期待する」(紹介文) 『あきたロシア音楽祭』ホームページ (<http://www.akita-russia.com/index.html>)。
7. 2005年8月 Naxos Nostalgia、コメントカード(CDの紹介文、無署名、毎月1～3枚、2007年9月まで)。ナクソス・ホームページ (<http://www.naxos.co.jp>)。
8. 2009年4月 連載「ほくりく音楽アラカルト」を(株)スタイルノートのインターネットで開始。

## (6) その他の活動

1. 1996年1月 フロリダ州立大学留学生センターにて、日本の歌謡曲についての口頭発表。最近の流行歌における英語のラップ使用など。
2. 1996年 フロリダ州立大学留学生センターにて、日本のお箏についてのデモンストラーション(楽器の解説と《六段》の冒頭部分の演奏)。
3. 2004年5月 ベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏会(富山市)、実行委員ならびに各公演の司会・解説。演奏＝クアドリフォーリオ(2005年9月まで6回公演)。
4. 2006年2月 富山県高等学校教育研究会音楽部会の研修会にて講師を務める。「アメリカの音楽、アメリカにおける日本の音楽」。富山県立富山高等学校。
5. 2007年1月 ショスタコーヴィチ弦楽四重奏曲全曲演奏会(富山市)、実行委員ならびに各公演の司会・解説。演奏＝クアドリフォーリオ(現在も継続中)。
6. 2007年11月 オーケストラ・アンサンブル金沢 第231回定期公演のプレトークを

担当。石川県立音楽堂。

7. 2008年2月 オーケストラ・アンサンブル金沢 第235回定期公演のプレトークを担当。石川県立音楽堂。

8. 2008年10月 オーケストラ・アンサンブル金沢 第248回定期公演のプレトークを担当。石川県立音楽堂。

9. 2009年6月 オーケストラ・アンサンブル金沢 第263回定期公演のプレトークを担当。石川県立音楽堂。

#### V. 学会等所属団体

1. アメリカ音楽学会 (American Musicological Society) (1999年1月～)
2. アメリカ音楽協会 (Society for American Music) (2002年1月～)
3. 日本音楽学会 (2003年10月～)
4. 日本ポピュラー音楽学会 (2004年10月～)
5. 国際ポピュラー音楽学会 (2005年1月～2005年12月)

#### VI. 免許状等

1. 高等学校教諭専修免許状 (平成5年3月、東京都教育委員会)
2. 中学校教諭専修免許状 (平成5年3月、東京都教育委員会)
3. 自動車中型免許 (富山県)